

## 2) 対策案の検討状況について

(1) 想定される対策案と交通混雑緩和の効果予測

### ⑤ 路上パーキングチケット駐車施設[現状]



全171台分  
うち貨物用6台分



パーキングチケット駐車施設に停めての荷捌き[大阪市中央区]



パーキングチケット駐車スペース[大阪市]

御堂筋周辺の路上パーキングチケット駐車施設の位置図 (H21大阪国道事務所調査)

## 2) 対策案の検討状況について

(1) 想定される対策案と交通混雑緩和の効果予測

### ⑥ビル内荷捌き駐車場の例



ビルの建替え時に整備した  
共同地下荷さばき駐車場  
〔千代田区〕

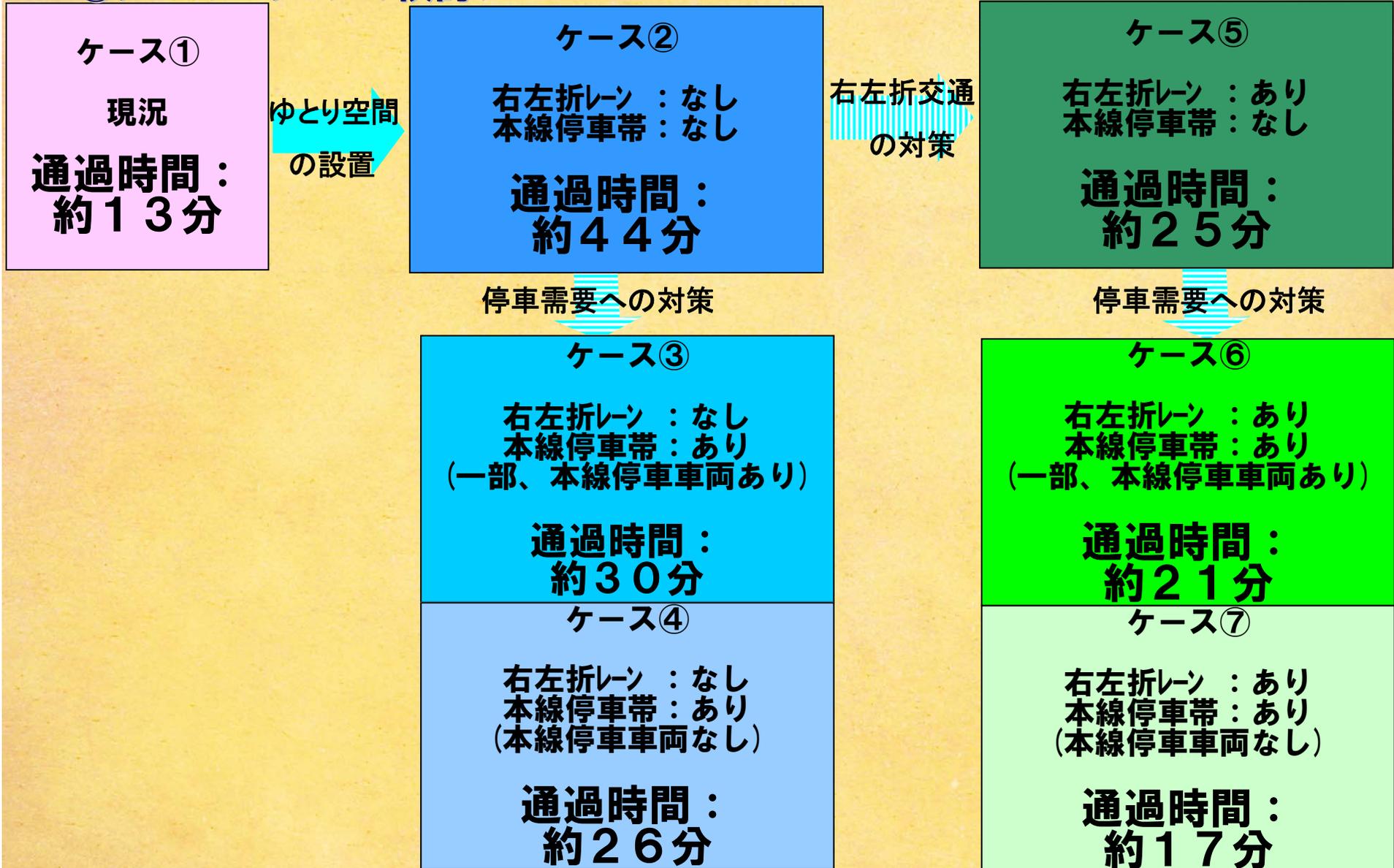
共同地下荷さばき駐車場  
〔大阪市〕

## 2) 対策案の検討状況について

(1) 想定される対策案と交通混雑緩和の効果予測

### 2) 交通シミュレーションによる効果予測

#### ① シミュレーションの検討フロー



## 2) 対策案の検討状況について

(1) 想定される対策案と交通混雑緩和の効果予測

### ② シミュレーションのケース設定と結果：所要時間

● シミュレーションについては、対策案①停車帯、停車スペースの設置及び対策案⑤右左折レーンの設置を想定し実施した。

ケース	①：現況	ケース② [前回報告ケース]	ケース③	ケース④	ケース⑤ [前回報告ケース]	ケース⑥	ケース⑦	
緩速車線	現況	緩速車線を閉じた場合						
右左折レーン	現況	なし			主要交差点※1に右左折レーンを設置			
本線停車帯	なし	なし	あり		なし	あり		
本線での 停車車両	現況	あり	あり注1)	なし注2)	あり	あり注1)	なし注2)	
車線構成								
平均通過時間 (分)	梅新南～ 淀屋橋	1	13	8	6	6	6	3
	淀屋橋～ 本町3	4	17	10	11	9	7	7
	本町3～ 新橋	4	9	7	7	6	5	5
	新橋～ 難波	4	5	5	2	4	3	2
	合計	約13分	約44分 (現況+31分)	約30分 (現況+17分)	約26分 (現況+13分)	約25分 (現況+12分)	約21分 (現況+8分)	約17分 (現況+4分)
信号停止 回数(回)	3	16	10	9	8	7	5	

※1主要交差点：本町3、新橋、難波交差点

信号現示は全て現況の信号現示

注1) 停車場所を現在停車している街区に限定したケース。停車車両の約2割は停車帯に入りきらず、本線上の停車となる。

注2) 停車場所を現在停車している街区に限定せず、あふれた車両は空いている隣接街区等の停車帯に停車したケース。本線上の停車はなくなる。

## 2) 対策案の検討状況について

(2) イチョウの保全を考慮した停車帯の検討

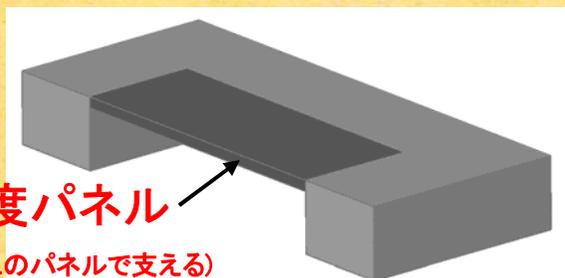
### 1) 停車帯の構造の概略検討

#### ● 検討方針

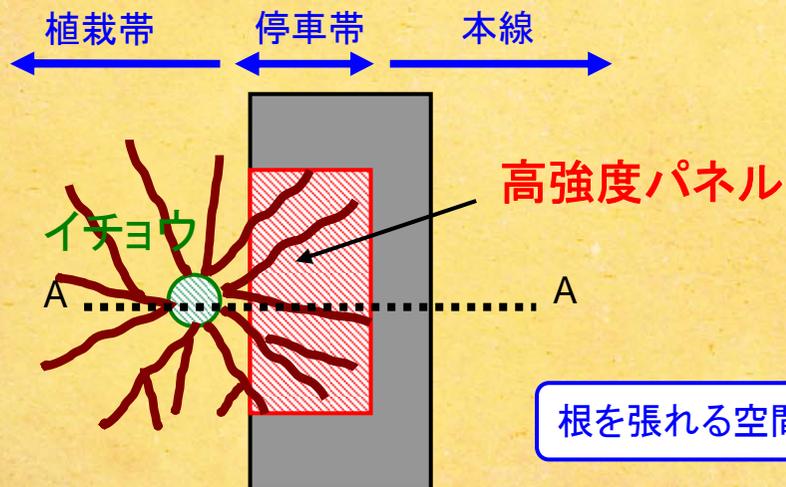
- I. イチョウの配置は現状のままとし、イチョウの根への影響が出来るだけ少ない構造を検討する。
- II. イチョウが健全に生育出来る環境を確保する構造を検討する。

#### ○ 高強度パネルを用いた事例

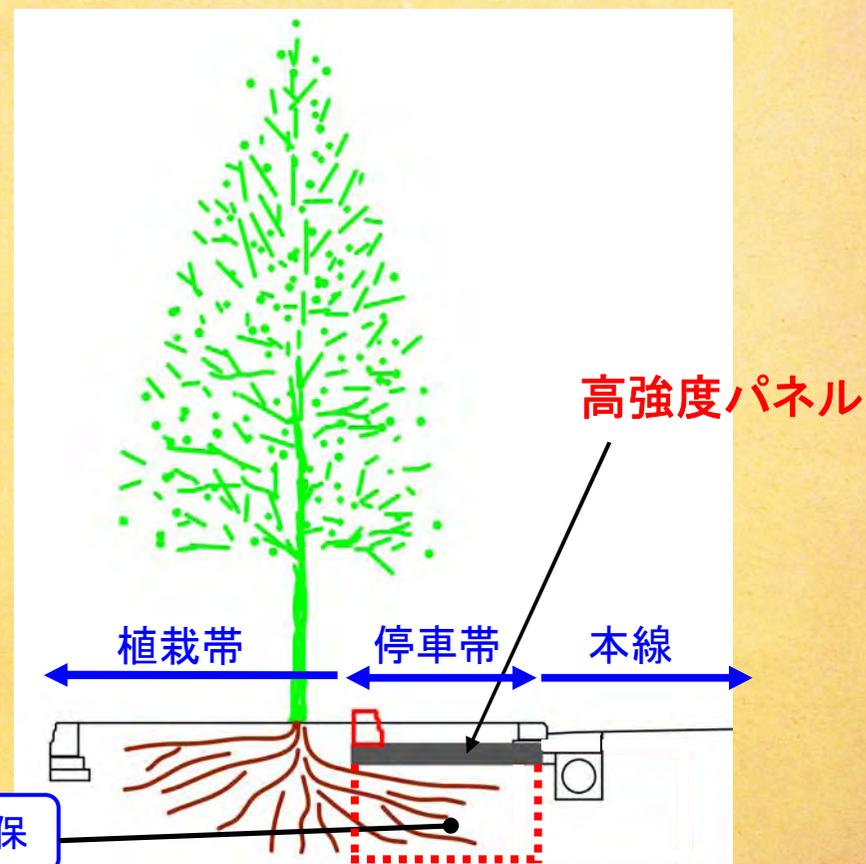
《イメージ図》



《平面図》



《横断図 (A-A断面)》



## 2) 対策案の検討状況について

(2) イチョウの保全を考慮した停車帯の検討

### 2)イチョウに関する実験

- 目的
    - ・ 停車帯の実現可能性の検討の基礎資料を得るため、イチョウの生育への影響の有無を把握する
  - 実験内容
    - ・ イチョウの根の一部を切断
  - モニタリング調査
    - ・ 樹木医の目視による影響診断
    - ・ 葉の水分量及び葉緑素量を計測
    - ・ イチョウ周辺の表層土壌の含水比を計測
- 予定スケジュール
    - H22年 3月 現地実験開始
    - H22年 秋 モニタリング(夏期)中間とりまとめ
    - H23年 春 モニタリング(1年間)とりまとめ



《水分量の計測機器》



《葉緑素量の計測機器》